

参考資料：

本資料は2006年3月1日（香港時間）にAT&Tが発表したリリースの抄訳です。

原文は<http://www.sbc.com/gen/press-room?pid=4800&cdvn=news&newsarticleid=22126>に掲載されています。

2006年3月8日

AT&T、リーダー・クアドラントに位置付けられる

～最新の「2005年アジア・パシフィック通信事業者市場のマジック・クアドラント」報告書～

（2006年3月1日 香港発）：AT&T Inc. (NYSE:T) は、ガートナー (Gartner) のレポート「2005年におけるアジア・パシフィック通信事業者市場のマジック・クアドラント (Magic Quadrant for Asia/Pacific Network Service Providers (NSPs), 2005)」において、AT&T がリーダー・クアドラントに位置付けられたと発表しました。このレポートは、アジア・パシフィック地域のネットワーク・サービス・プロバイダー (NSP) 13社を対象に、実行能力と企業ビジョンの完全性という基準に基づき、評価しています。

今回のマジック・クアドラントは、アジア・パシフィック全域を網羅するネットワークを備えた多国籍企業に対して国際通信サービスを提供するネットワーク・サービス・プロバイダーを評価対象としています。ガートナーは、マジック・クアドラントレポートにおいて、リーダー企業は、特に将来的な市場ニーズの定義において明確なビジョンを示している、としています。こうした企業は、多くの場合、新規事業分野や実績が証明されていない分野で競合企業に先駆けて投資を行うことによりそのビジョンを推進しており、総じて、将来に向けて市場で優れた位置を確保しています。同レポートでは、地域のネットワーク、現地のサービスおよびサポート、サービスレベル・コミットメントを通じて、優れた品質のサービスを提供するために一層の努力を注いでいるサービス・プロバイダーが高得点を獲得している、と記しています。また、今年のガートナーの調査では、アジア・パシフィック地域で最も重要な市場である中国やインドに対する国外からの優れた接続性と両国内における優れた接続性を提供の有無に関しても重視しています。

「昨年のレポート発表以来、アジア・パシフィック全域のAT&TのスタッフはSBCとの合併によって混乱することもなく、事業と顧客サービスのあらゆる分野で引き続き優れた業績を達成するために努力を重ねてきました。」

AT&T ビジネス・アジア・パシフィック
バイス・プレジデント
スティーブ・ロウ (Steve Lowe)

AT&T は、市場における卓越性を広く認識されているグローバルな IP ベースのネットワーク能力、資産、リソースを有しており、旧 AT&T および旧 SBC のそれぞれが単独企業のままでは実現できないであろう新しい IP イノベーションを解き放つ可能性を創出しています。

AT&T Inc. は子会社と関連会社を合わせると、米国内最大であると同時に世界でも屈指の規模を誇る通信企業です。合併会社は、高速 DSL インターネット・サービスに加えて地域および長距離通話サービスで米国最大のプロバイダー、かつフォーチュン 1000 社にデータ・サービスを提供する No.1 プロバイダーです。また新生 AT&T は、米国で No.1 のワイヤレス・サービス・プロバイダーであるシンギュラー・ワイヤレス社 (Cingular Wireless) の株式を 60% 保有しています。

ガートナーのレポート「2005 年におけるアジア・パシフィック通信事業者市場のマジック・クアドラント (Magic Quadrant for Asia/Pacific Network Service Providers, 2005)」の詳細については、<http://att.com/awards/analysts/gartner.html> をご覧下さい。

AT&T は 1 月 19 日に、ガートナーの「2005 年におけるグローバル通信事業者市場のマジック・クアドラント (Magic Quadrant for Global Network Service Providers, 2005)」でリーダー・クアドラントに選定されたことを発表しています。2005 年には、ガートナーの「汎欧州通信事業者市場のマジック・クアドラント (Magic Quadrant for Pan-European NSPs)」においてもリーダー・クアドラントに位置付けられたことも発表しています。

Gartner Magic Quadrant について

C・ツー (C. To)、K・デサイ (K. Desai)、2006 年 1 月 16 日「2005 年におけるアジア・パシフィック通信事業者市場のマジック・クアドラント (Magic Quadrant for Network Service Providers, Asia/Pacific, 2005)」、D・ニール (D. Neil)、J・デルクロワ (J. Delcroix)、J・パルツ (J. Pultz)、N・リカード (N. Rickard)、2005 年 12 月 15 日「2005 年におけるグローバル通信事業者市場のマジック・クアドラント (Magic Quadrant for Global Network Service Providers, 2005)」、N・リカード (N. Rickard)、J・デルクロワ (J. Delcroix)、2005 年 6 月 30 日「2005 年における汎欧州通信事業者市場のマジック・クアドラントーリーダーおよび概念先行型 (Magic Quadrant for Pan-European NSPs, 2005: Leaders and Visionaries)」の著作権はガートナーが取得しており、ここではその許諾を得て再掲したものです。マジック・クアドラントは、特定の時点や期間における、特定の市場を図式的に表現したものです。これは、ガートナーの採用した定義に基づいて、当該市場向けの基準に特定のベンダーを当てはめた場合の評価をガートナーが分析したものです。ガートナーは、マジック・クアドラント内に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また「リーダー」クアドラント内に位置付けられたベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。マジック・クアドラントの用途はリサーチ・ツールに限定されており、特定の行為に導く意図を有しておりません。ガートナーは、明示または黙示を問わ

ず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。
(GJ06069)

###

新生AT&Tについて

AT&T Inc.は米国内最大、そして世界でも屈指の通信事業持ち株会社です。AT&Tブランドのもと、グローバルに事業を展開するAT&T企業グループは、企業向けIP通信サービスで世界的な主要事業者であるだけでなく、高速DSLインターネット、市内および長距離通話、電話帳出版および広告サービスにおける米国最大の事業者です。AT&T Inc.は、米国随一の携帯通信事業者として5,400万以上の顧客を擁するシンギュラー・ワイヤレス社 (Cingular Wireless) の株式を60%保有しています。AT&T Inc. ならびにAT&Tのサービスに関する詳細は www.TheNewATT.com をご覧下さい。

© 2006 AT&T Knowledge Ventures. All rights reserved. Subsidiaries and affiliates of AT&T Inc. provide products and services under the AT&T brand.